



令和2年6月1日 二条保育園発行

「ホイクエンニ、ゲンキモラッター！」久々に登園した3歳児星組A君が、給食時に発した言葉です。

朝の受け入れでは久しぶりすぎて「イヤダー！オウチニカエルー」と、泣いて泣いて大暴れ(笑)えび反り…だったのに。担任は何か特別なことをしたというわけではなく、いつも通りの一日。すぐに勤は戻るようで、友だちと遊び、ちょっと寂しくなったら先生に抱っこしてもらい、「おいしい！」と言いながら慣れ親しんだ給食を食べ、少し早めのお迎えを待って、お父さんの姿が見えると「カエラナイ！」とゴテて…心配をよそに園生活を満喫して帰って行きました。保育園っていいところですね！

緊急事態宣言が解除され、久しぶりの保育園に玄関先では、戸惑っているような表情の子どもたちも、日常が始まると宣言が出る前となんら変わらず過ごせています。子どもの順応力の高さには感心させられます。子どもの心は強いけれども、そうあるのは、活気のある穏やかな日常を取り戻せたのは、みんなのがんばりの賜物です。ありがとうございます。この大切な日常を続けていけるよう、今後もひとりひとりができることをやっていければよいなと思います。

屋上の鯉のぼりも、みんなのことを見守りながら今日も泳いでいます。鯉のぼりの時期はとっくに過ぎていますが、二条の子ども全員が戻るまでがんばって泳ぎます！



※毎年6月は、小児科健診の他に歯科・耳鼻科・眼科・検尿といった様々な健診を実施していますが、新型コロナウイルス感染症のため、秋ごろに延期をいたします。ご了承ください。

※参観日・懇談会も延期いたします。お子さんに気がかりな様子が見られる場合はいつでもご相談ください。

近況を聞かせてもらうため、長期自粛いただいているご家庭に、担任から電話をかけ、代わった子どもとお話ししようとしたところ…

「せんせ〜、見えるようにして」とリクエストが。残念ながらその機能がこちらには無くて(笑)

会って顔見てしゃべれたらもっと楽しいよ。早く会いたいね！

保育園は名言の宝庫。5月でも暑くてたまらない日がありました。

「暑いね〜、ホント」と言い合っていると…

「よ〜し、太陽に水撒いてやろう！」と年長児のA君。

そんな表現って…ステキすぎるや〜ん、かっこいいね！

